

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ)	授業コード	E002604
担当教員名	板倉 理友		
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分	必修	単位数	4
履修上の注意または履修条件	経済分析に興味を持っている人が望ましい。報告者になったものは必ずレポートを作成して発表すること。		
受講心得	(1)毎回出席を取ります(毎回のゼミ出席を心がけてください)。 (2)毎回報告者を決めて、発表してもらいます(ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場です)。 (3)予習を必ずしてきてください(日頃から自分なりの問題意識を持ってください)。		
教科書	地域マクロ経済の分析(現代図書)板倉理友 著		
参考文献及び指定図書	必要な都度指示します。		
関連科目	マクロ経済学、地域経済学		

授業の目的	本ゼミナールでは、現在地域が置かれている経済状況を理解するために、まず基本となる経済の理論・フレームを勉強します。その上で地域に突きつけられている課題を解決するためにはどうすればよいのか、その方策はどんなものがあるのか等々を分析することによって、最終的にマクロから見た地域経済という実態を把握し、卒業論文を作成することを目的としています。 ゼミナールⅢの前半では、ゼミナールⅡA、ⅡBを踏まえて経済学の理論を深めると同時に、地域経済の実証分析を進めていきます。1980年代後半から1990年代初めにかけて生じたバブルの発生及びその崩壊、情報革命の進展、これから始まる本格的な金融ビッグバン等々、地域経済を取り巻く状況はどんどん変化しており、それに伴って新たな課題も次から次へと生じています。これらの課題に対し、経済学はどう答えられるのかを検討していきます。また、ゼミの後半では就職活動に備えて、日本人でも迷うような日本語の文章の書き方を勉強します。正確な日本語の書き方、論理的な文章の書き方を具体的な場面～で学んでいきます。
授業の概要	毎回、次週の報告者を決めます。決まった報告者は事前にレポートを作成し、発表してもらいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：履修指導</b> オリエンテーションと履修指導を行います。	次回授業内容の予習・レポート
<b>第2週：産業連関分析の考え方</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第3週：産業連関分析の考え方2</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第4週：消費構造変容分析</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第5週：消費構造変容分析2</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第6週：消費構造変容分析3</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第7週：市町村分析(姫島村)</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第8週：市町村分析(姫島村)2</b>	

当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第9週：市町村分析(姫島村)3</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第10週：市町村分析(姫島村)4</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第11週：市町村分析(姫島村)5</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第12週：市町村分析(姫島村)6</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第13週：市町村分析(姫島村)7</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第14週：市町村分析(姫島村)8</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	次回授業内容の予習・レポート及び復習
<b>第15週：市町村分析(姫島村)9</b> 当該講義で取り上げるテキスト内容を報告者が発表するという形式で授業を進めていきます。	これまでの復習
<b>第16週：履修指導</b> オリエンテーションと履修指導を行います。	履修の確認
<b>第17週：文章力の「基本」が身につく</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第18週：文章力の「基本」が身につく2</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第19週：文章力の「基本」が身につく3</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第20週：文章力の「基本」が身につく4</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第21週：文章力の「基本」が身につく5</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第22週：文章力の「基本」が身につく6</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第23週：文章力の「基本」が身につく7</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第24週：文章力の「基本」が身につく8</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第25週：文章力の「基本」が身につく9</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第26週：文章力の「基本」が身につく10</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。	プリント配布、全員で討議
<b>第27週：文章力の「基本」が身につく11</b>	

プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。		プリント配布、全員で討議
<b>第28週：文章力の「基本」が身につく12</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。		プリント配布、全員で討議
<b>第29週：文章力の「基本」が身につく13</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。		プリント配布、全員で討議
<b>第30週：文章力の「基本」が身につく14</b> プリントを配布し、例示の日本語の文章が果たして適切なかどうかを全員で考えて討議を行います。		プリント配布、全員で討議
<b>第31週：期末試験</b> 試験はありません。		
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
<b>備考</b>		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	①出身地域に対してある程度の経済的な説明ができる。 ②日本語に興味を持つ。
<b>【知識・理解】</b>	③大分県、宮崎県等の地域経済について理解できる。 ④日本語を正確に理解でき、正確な文章を書ける。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	⑤自発的に発表ができる。 ⑥コミュニケーションができる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	⑦大分県、宮崎県等の地域経済についての分析ができる。⑧論理的に日本語で考えることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			40点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			20点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		20点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	必ず自分の発表日の授業には、事前にレポートを作成して報告してください。
発表・その他(無形成果)	発表(報告)するときには、分かりやすく言うことができているかどうか、よくまとまっているかどうか等を採点します。